

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

熊本県HP：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/80/>



台風や大雨への備えはできていますか？

先日の豪雨により、浸水等の被害にあわれた農家の方々へ心よりお見舞い申し上げます。

近年では、梅雨末期の集中豪雨や台風等により各地で水害や土砂災害が発生しています。ご自身の財産である家畜を守るためにも、今一度、台風や大雨への備えをよろしくお願いします。

1 事前の対策

- 畜舎周辺や圃場の側溝や排水口を清掃するなど、排水が容易となるよう整備を行いましょ。
- 雨漏りや雨水の流入を防ぐため、畜舎の修繕や補修を行いましょ。
- 雨水が侵入し堆肥等が流出しないように対策を講じましょ。
- 屋外に保管してあるロール等は水はけの良い場所に保管しましょ。

2 浸水被害等があった場合の畜舎消毒

大量の雨水や土砂が畜舎等に流入した場合、破傷風菌や炭疽菌といった土壌菌と一緒に流れ込むことも考えられます。これらの土壌菌は芽胞と呼ばれる殻を形成するため、一般的な消毒薬が効きにくく、注意が必要です。

畜舎消毒の方法

- ①土砂等を除去し、十分に水洗する。
- ②乾燥させる。
- ③グルタラル剤や塩素系消毒剤、ヨード系消毒剤を使って消毒する。
(土壌菌には逆性石鹼や消石灰ではあまり効果は期待できません。)
- ④再度、十分に乾燥させてから、清潔な敷料をいれる。

！！注意事項！！

- ヨード系や塩素系の消毒薬には金属の腐食作用があります。また、皮膚に付着したり目に入ったりすると刺激性がありますので、手袋やゴーグル等を装着してください。
- 消毒薬は用法用量を守って適切に使用してください。

夏場の死亡牛BSE検査とレンジング処理について

夏場は暑熱ストレスによる家畜の死亡頭数が増加するとともに、気温が高くなると、腐敗が短時間で進行し、以下に示したような問題が発生することが想定されます。腐敗の進行が著しく、化製処理が困難になった死亡牛は、熊本蛋白ミール公社から腐敗牛と認定され、月齢に関係なく「腐敗牛処理料35,500円」が徴収されることとなります。

〈腐敗牛により発生する問題〉

- BSE検査不能牛の発生
- 搬入事のクレーン懸垂不能による作業負担の増大
- 悪臭による環境問題の発生

熊本蛋白ミール公社及びBSE検査所では、夏季の死亡牛の腐敗防止対策として「土曜日の特別業務」を実施しています。飼養する牛が死亡したときは、熊本蛋白ミール公社への迅速な搬入及び搬入時間の事前連絡をしましょう。また、時間厳守でお願いします。

➤ 夏場の対応期間

令和5年(2023年)7月1日～9月30日

➤ 期間中の「土曜日」業務

午前 8:30～11:30 (通常どおり)

午後 1:00～ 3:00 (特別業務)

※期間中の**日曜日**、**7月17日**(月、海の日)、**8月11日**(金、山の日)、**8月15日**(火、盆休み)、**9月18日**(月、敬老の日)、**9月23日**(土、秋分の日)は**休業**です。

問い合わせ先：(株)熊本蛋白ミール公社 TEL 0968-26-3766

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	ロシア	家きん	令和5年5月12日
		ネパール	家きん	令和5年5月22日

令和5年(2023年)6月30日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/4/56061.html>

